

令和3年度 八戸市立江南小学校 学校経営の方針

校長 笹川 力

I 教育目標（長期目標）

1 教育目標 「強い子になろう」

2 努力目標	自分の頭でよく考える子	みんなと仲良く助け合う子
	じょうぶな体にきたえる子	進んで力いっぱい働く子

II 学校経営の理念

1 理念

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の法律や学習指導要領、県・市の方針を踏まえ、子どもの実態、保護者の願い、地域の信頼をもとに、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るために、教職員個々のよさと組織力を生かした教育を推進する。

2 基本姿勢

- (1) 生涯にわたる人間形成の基礎を培う学校づくりをすすめる。
- (2) 危機管理意識をもち、子どもの安全・安心を最優先にする学校づくりをすすめる。
- (3) 組織力を発揮する学校づくりをすすめる。
- (4) 家庭・地域とともに歩む学校づくりをすすめる。

III 学校経営方針及び学校目標

1 めざす学校像

- (1) 信頼される学校
子どもの安全を確保し、保護者との共通理解を図る。地域へ情報発信する。
- (2) 笑顔があふれる学校
教職員も児童も、お互いを認め合う。

2 めざす子ども像

- (1) 人の気持ちを想像できる子ども
思いやりと感謝の気持ちを忘れない。「ありがとう」「ごめんなさい」を大切に。
- (2) 学習に誠実に向き合う子ども
与えられた課題は手を抜かない。自分の頭で考えることから逃げない。

3 めざす教職員の姿

(1) 子どもを大切にする教職員

よく見て、よく関わって、児童一人一人とのパイプをしっかりと作る。

(2) 授業を大切にする教職員

授業準備は、ひと手間かけて。「私の授業を見てください」と言える教師。

4 学校目標 主体的・自立的に学習に取り組む子どもの育成

◆重点施策：児童の主体性を喚起するための授業の工夫と学習習慣の確立

(1) 学習意欲を喚起し、授業のねらいを達成するために、思考を促すような「発問」や「授業の展開」を工夫する。

(2) 子どもが授業において主体的に課題解決ができるように、効果的な「対話」のあり方を工夫しながら授業をつくる。

(3) 「こうなんスタンダード（家庭学習の進め方）」の定着をめざし、一人一人に自立的（＝自律的）に学習に取り組む姿勢を育てる。

IV 令和3年度の重点施策

1 学級経営の充実

(1) 子どもたち一人一人に向き合い、「心の居場所」づくりを進める。

(2) 発達の段階に応じた学習規律・生活規律の確立と望ましい人間関係の形成（絆づくり）。

2 確かな学力の向上：「自分の頭でよく考える子」

(1) 基礎的・基本的な学力の確かな定着の保障

- ・学力検査の結果の分析と活用
- ・計算テスト／漢字テストの運用
- ・子ども一人一人のつまずきに応じたていねいな個別指導

(2) 子どもたちの主体性を育むための問題解決的な学習の実現（積極的な授業改善）

- ・校内研修の充実 → 校内研究の成果の共有と日常化の促進
- ・「わかりましたか？」「はい」から「わからないところはどこですか？」へ

(3) 特別支援教育の視点を生かした授業づくり（授業の「見える化」「焦点化」「共有化」）

(4) 読書指導の充実（読書タイム、家庭と連携した読書力の向上）

(5) 外国語活動および総合的な学習の時間の充実と「モジュール国語」の実施管理

3 豊かでたくましい心の育成：「みんなと仲良く助け合う子」「進んで力いっぱい働く子」

- (1) キャリア教育と関連させて、体験的な学習や総合的な学習時間を充実させた、「学び意欲・働く意欲」の向上 ※コロナ禍の体験的な学習の在り方
- (2) 他者とのかかわりを通して、「自分を育てる（自尊感情や自己有用感を高める）」
- (3) なかよし班活動の充実（なかよし記録会・ウォークラリー・クリーン作戦）

4 じょうぶで健やかな体の育成：「じょうぶな体にきたえる子」

- (1) 運動タイム（マラソン・なわとび運動）の充実
- (2) 歯の衛生指導と学校保健委員会の充実
- (3) 講師を招いての食育指導の推進

5 生徒指導の充実

全校児童を全教職員の目で見守り、支える。
子どもの話で盛り上がる職員室に。

- (1) カウンセリングマインドによる心に響く指導といじめの未然防止（毎月のアンケートの実施）
- (2) 気になる子どもに対する全体での情報共有（職員会議における「のびゆく大いちょう」での情報交換と組織的な対応）と早期対応ならびに組織的な指導の充実

6 特別支援教育の充実

- (1) 気になる子ども一人一人の教育的ニーズの把握と個に応じた適切な指導・支援の充実（職員会議における「のびゆく大いちょう」での情報交換と共通理解）
- (2) 保護者との連携を含めた校内支援体制の整備と「個別の指導計画・支援計画」の作成と活用

7 家庭や地域の教育力を生かした地域密着型教育の推進

- (1) 保護者や地域の教育資源・人材を活用した活動の充実（三社大祭・えんぶり・施設訪問等）
- (2) ボランティアによる毎月の「読み聞かせ」の継続と学習支援の積極的活用
- (3) 家庭学習（「こうなんスタンダード」）習慣の定着・家庭読書の充実と質の向上
- (4) 学級だより・学校ブログによる積極的な情報発信

8 安全・安心の実現と防災教育の充実 [毎月11日：江南小いのちを大切にする日]

- (1) 子どもの「命」を守ることをすべてに優先させる（事故防止に万全を期する）
自他の命の尊重⇨人権意識の向上⇨いじめの防止
- (2) 施設設備の安全管理と安全教育・防災教育の充実
- (3) 学校内外の安全点検および環境整備を基底にした子どもたちの安全確保の徹底